

地元中川原のたんじりがふくろうの郷へ!!



▲ 勇壮なたんじりの前で記念撮影。



▲今年もきてくれました!



春の陽気も最高の4月5日(日)、地元中川原で春祭りが行われ、地域内をたんじりが練り歩き、今年もふくろうの郷まで来てくださいました。

立派なたんじりに入所者の皆もびっくり! みなさんがたんじりを見に集まりました。

目の不自由な入所者も、手で触ったりして感触を楽しんでいました。

また、「音だけでも楽し



▲言ろう者も間近で獅子舞を楽しみました!

たい」と出てこられた盲で難聴の入所者もいました。

たんじりの次には獅子舞も登場し、これにも入所者の皆はびっくり! 獅子舞の踊りを見て楽しんだり、獅子舞を触って楽しんだりしていました。

そして、最後に地域の方々、入所者、職員みなそろって記念写真を撮りました。

地元中川原の方々を始め、ご協力いただきました

曲田山と中川原中学校にお花見に行ってきました。曲田山の桜は五分咲きでしたが、ぼんぼりも揺れていて景色もよく、ゆったりと時間を過ごしました。

お花見



▲ありがとうございました。

皆様方、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。(介護…角村)

先月、短期利用者の市谷様より「寄贈いただいた「しだれ桜」が満開になりました。きれいな桃色の花びらが入所者みなさんの「和み」のひとつを演出しています。



▲桜をバックに記念撮影

中川原中学校はふくろうの郷からすぐ近くですので、車椅子の方や普段あまり外出されない方も参加され、楽しいひと時を過ごしました。

お花見に欠かせないのが、甘酒と三色団子。みなさん春の空気を吸いながら、おいしそうに食べたり飲んだりしていました。施設内とはひと味違うおいしさだったことでしょう。(介護…角村)



▲花より団子?

ふくろう新聞

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷会
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551

お知らせ



入所者紹介 ～坂口きぬゑさん～



今月は地元中川原からの入所者、坂口きぬゑさんを紹介します。

坂口さんは物腰低く、非常に丁寧な方で職員が応対した後には必ず「ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます」とお礼を2回も言ってくれます。

また、トイレから出るとさも「ありがとうございます、ありがとうございます」とお礼をいって出てくれます。

坂口さんと接していると礼儀作法や伝承など、話しているだけでも教わる事が多くあります。

昔から語り継がれたり、親から教えられた物事などは幾つ年を重ねても失われなれないのだと感心することばかりです。

他には今日の天候や季節の移り変わりなど、見たこ

と感じたことを職員に話しかけてくれます。

昔話もよく語ってくれてお話の一つです。

一つ例にあげると、その昔、春になると中川原の方たちが浜まで潮干狩りに出かけていく大勢の人たちを家から見ている話や、秋になるとみかん農園へみかん狩りに向うと思われるバスが列を成して細い坂道を登っていついていた話を懐かしそうに語ってくださいます。

坂口さんだけでなく、入所者皆さんと接すること、介助することで我々は、学ばせてもらっていることを忘れずに「ありがとうございます」の気持ちを持って援助していきたいとおもいます。

(介護・神代)



▲3月の交流会で記念撮影

柳学園「お茶会」



3月12日に、柳学園高校の生徒さんが「お茶会」を開いてくださいました。

入所者も戸惑いながらお茶を立てていました。

和やかな空気が流れるなか、生徒さんたちと楽しい交流ができました。

柳学園高校の生徒さん、先生方、ありがとうございます。

ぶくろうの郷家族会発足!!



▲活発な議論が交わされました。

3月28日、入所者の家族会が正式に発足し、会議が開かれました。

理事リレーエッセイ ～宗教と生活について考える～

理事 白水祥文

百年ぶりの大不況等と云われた本年の正月の初詣客も、多かつたと聞いております。

「困った時の神頼み?」ところが願いが叶わなかった時には「神も仏もないものか」と嘆く事しきり! 日本では古来から神様と仏様が並立して存在しており、今でも神社とお寺が一对となつて、その集落の信仰(?)の中心となっている所が多くありますし、まだまだ神棚と仏壇がその家の中心にお祀りされているのが自然な姿のようです。

世界でも例を見ない日本の「信仰」のありようです。

一方昭和二十年の敗戦と共に信仰の自由の思想興宗教が生まれる事となったのだと思います。

日頃「宗教なんて迷信」と云いながらも神頼みをするし、叶わなかった時には「神も仏もない」と云う。このように、一見矛盾するような事があるのが人

間としての弱さであり、また正直な心がある事の証ではないでしょうか。

そんな事を考えながら、例えばお釈迦さまやお大師さま、キリストさまの経典などを紐解いて(まだまだ浅はかな理解ですが)お諭しのおことばを開いて考えると「人々がより良い行き方をするための理念の凝縮」であるのです。平易な言葉に言いかえると「みんなが仲良く健康で、楽しく生きるための指針」であるのです。そして、山に登るにもいろんな道があるように、頂上に登れば皆同じです。そしてその道が宗派であり、教理は山に登る杖にも例えれば良いでしょうか。

今の社会では親しみのある会話や、暖かな心の交流が失われつつあると云われておりますが、そんな時だからこそ、誰もがどんな時にも「家族がみんな仲良く健康で、隣近所が楽しく暮らせるような社会づくり」を念頭に暮らしてみませんか。

地域を語る

第4回 聖誕(花まつり)

無量山大照寺 住職 本間克伯

今から二千五百年前、インドの国ネパールルンビニ園で無憂華の花開く春八日お釈迦様は、小国のカピラ城の皇太子として生を受け、生まれるとすぐに六歩半歩かれて右手は天を提し、左手は地を指して「天上天下唯我独尊」と言われたと伝えられています。

この言葉の意味は、自分はこの宇宙のいのちの恵をいただき一人の人間として生まれて来た喜び、素晴らしさ、尊さを、お叫びになったものであります。

さらに六歩半、歩かれたと云うことは、生まれながらにして地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天の六輪廻の世界を迷い歩くだけではなく、これを既

に半歩踏み出されて、真実の人の人たる道を歩こうとする心と姿の表れであります。

成人された後、二十九歳で出家された六年間の苦行の末、三十五歳の時遂に覺りを得られ仏様となられました。

四月八日のお花まつりはお釈迦様のご誕生をお祝いすると共に人間生命の尊さを謳う聖日と云うべきでしょう。

当地域の寺々では旧暦の五月八日色とりどりのお花で飾った沸堂を作り、お釈迦様の誕生仏をお祈りして甘茶を注いで法会を修し、お祝いを申し上げるのであります。

特に仏教徒である方々はお釈迦様の法の教えに欲している訳ですから、この日を大切に手を手を合わせ感謝の誠を捧げる事が肝要でしょう。

合掌

ほけの花寄贈



▲立派なお花です。

3月末に、安坂の橋本さんからふくろうの郷にほけの花を寄贈いただきました。早速、玄関に飾らせていただいています。

地域との交流を大切に、これからも頑張ります。ありがとうございます。

喫茶へようこそ!



▲農作業の合間の一息に

3月29日に地域の方がふくろう喫茶に来店されました。これからもどうぞお気軽に足をお運びくださいませ。

芝田 昭さん(74)
昭和10年4月2日



安井 信重さん(85)
大正13年4月10日



山口 宏子さん(64)
昭和20年4月8日



宮内 武友さん(79)
昭和5年4月17日



4月 おたん生日 おめでとう

笠木 博さん(81)
昭和3年4月24日



伊賀 一郎さん(76)



柴山 貞子さん(88)



新入所者紹介



中川原独居老人食事会

3月14日、中川原地域のお年寄りをお招きして交流会が開かれました。

まず、厚浜の山田さんのご指導の下、ふくろうの額縁をみんなと一緒に作りました。それが終わると、お待ちかねの食事です。旬の食材に舌鼓を打ちました。

地域とふくろうの郷と一緒に、なつて楽しめた一日でした。



▲みんな上手に出来ました。

【2009年度予算の概要】
(単位：千円)

収入	介護保険等収入	316,519
	助成金	7,343
	寄付金収入	10,072
	その他収入	4,900
経常収入計		338,834
支出	人件費支出	200,350
	事務費支出	19,670
	事業費支出	53,630
	借入金利息	6,187
	経常支出計	279,837
経常活動資金収支差額		58,997



2009年度 淡路ふくろうの郷事業計画



2009年度は3年ぶりに介護報酬の改訂が行われました。

過去2回の改訂はいずれもマイナス改訂でしたが、今回始めてプラスとなり、全国的には3%と言われています。

しかし、淡路ふくろうの郷の場合は新しい加算制度の適用があまり受けられないため、1%にも満たない増収の見込みであり、非常に厳しい状況です。

そんな中でも運営理念である「人権の尊重」と「地域との共生」の実現を目指して事業運営を進めてまいります。



開所以来「ふくろう大学」として書道や押花、農業などいくつかの学びの

③ふくろう大学の充実

入所者の生活の4本柱の一つである「学び」について、

増を加味し、適正な収支バランスが保てるよう入所者・ご家族にも理解と協力をお願いしていきます。



②食の安全強化

昨年引き続き、中国産や冷凍食品の使用はせず、食材は地域の農産物魚介類を中心に使用することによって、安全で美味しく楽しめる食生活を目指します。

①職員体制

職員にとつて働きやすい職場であることが、入所者・利用者の処遇の改善につながるのと立場から、経営的に可能な範囲で適切な職員体制に努めます。



【入所者・利用者の処遇の向上】

④職員研修の強化

理念・知識・技術の3拍子揃った質の高い職員の養成に努めます。



【地域福祉の拠点としての事業活動】

①第4回ふくろうふれ愛まつりの開催

地域のまつりとして定着しつつあるふくろうふれ愛まつりを今年も10月25日(日)に開催します。



②中川原地域「淡路ふくろうの郷地域交流会」との連携

地域と施設との架け橋として「淡路ふくろうの郷地域交流会」が結成され、3年目を迎えます。

昨年度の事業に加えて今年度は次の事業を施設と連携して取り組みます。

- 手話講座の開催(月2回)
- 郷土芸能グループとの交流
- かかし作り
- 餅つき、しめ縄作りなどの行事の共催



③ボランティアの受け入れ、連携

昨年度も地域で共に生き、学ぶ仲間として延べ30名のボランティアの皆さんに支えていただきました。

今年度も引き続き、ふくろう理髪店、ふくろう大学(書道、農業、釣り、芸術等)の講師、買い物や図書館などへの外出などの他、盲ろう者の話し相手や個別の生活支援等もお願いしていきます。



淡路ふくろうの郷 地域交流会 手話教室のお知らせ

今年度も淡路ふくろうの郷で手話教室を開きます。講師はふくろうの郷の職員・入所者です。

■参加費：1,500円(テキスト代含む)
■開講式：5月9日(土) 13:30~15:30

<お問い合わせ>
淡路ふくろうの郷 担当：森岡
TEL：0799-25-8550 FAX：0799-25-8551



淡路ふくろうの郷 ふくろう喫茶よいお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの郷の入所の方々と一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

◆開催日時：4月18日(土)
13:00~15:00

コーヒー・ココア・紅茶・カルピスなどなど1杯¥200より・

